第 13 回未来会議（全体会）　議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）会長　須都　紘
書記・広報　鈴木　豊

日時：令和 4 年 3 月 20 日（日）13:30～15:45
（各分科会等の打ち合わせは 17:30 まで）

会場：西集会所

出席者：（順不同、敬称略）
須都　紘（会長）、伊藤　智子、黒部　實（以上　副会長）
鎌田　卓（事務局長）、鈴木　豊（書記・広報）
田口　信義、中世古　昭一、山地　祐輔、山田　勲、中谷内　政之、
黒田　勝行、福家　稔、谷猪　富貴子、山田　修、渡辺　昇
欠席：梅本　慎二郎、蔵田　かほり、野津　拓也、須田　健一

配布資料：
① 議題
② 「子育て分科会」活動報告書
③ 「高齢者分科会」活動報告書
④ 「交流分科会」活動報告書
⑤ 「連合会ホームページへの提言」小委員会報告書
⑥ 令和 3 年度未来会議決算見込み
⑦ 令和 4 年度未来会議　全体会＆幹事会　予定（案）

〇須都　未来会議会長より
・本日は令和 3 年度で最後の全体会議となった。
・閉館が続いていたいきいきホールと各集会所について、すでに回覧等でお知らせしているとおり、コロナの感染状況がやや落ち着きを見せていることを踏まえ、いきいきホールが 3 月 23 日（水）から、各集会所も 3 月 21 日（月）から、それぞれ使用が再開される。

・生駒市や奈良県の感染者数は低下傾向にあるものの、大きく減っているわけではなく、病床使用率も依然として 50%を超えていることから、引き続き十分な感染対策を行いながら使用することにしている。
・また、いきいきホールの元多目的スペースの撤去が完了した。3 月 22 日に家屋調査が実施され、問題がなければ工事業者から生駒市に引き渡しされる。砂利敷きのままでは使いにくいため、4 月中頃にアスファルトで簡易舗装する。また、交番との境界部分および南側部分には植栽で柵を設ける。予定では 5 月連休前後に使用開始となる見込みである。
・いきいきホール運営委員会はこの広場を「いきいき広場」と名付け、住民の皆さんの憩いと交流の場として、オープンカフェ、子どもの遊び場、ミニコンサート、朝市などの開催に使用する予定である。
・オープニングイベントには子どもたちによる植樹などのセレモニーも検討している。日程や詳細が決まり次第、皆さんにお知らせしたい。

○「子育て分科会」活動報告

「鹿ノ台放課後子ども教室・にじ」事業（案）概要

・前回の会議で、生駒市教育こども部指導課の委託事業として実施することを提案した「鹿ノ台放課後子ども教室・にじ」の概要を報告する。
・市から補助金が出るため、備品購入、外部講師と学生スタッフへの謝金、スタッフの保険・通信費を賄うことができる。
・場所としては鹿ノ台小学校の主に図工室を使用する。イベントによっては体育館も使用できる。
・開催日時は、６月から令和５年２月までの水曜日 14:50～16:50 である。令和４年度中で 28 回、開催する。なお夏休み中は熱中症対策のため、水曜日の 9:00～11:00 に開催する。
・参加児童の定員は 30 名である。
・参加児童の自己負担で、年間 800 円のスポーツ安全保険に加入してもらう。図工の材料費なども実費負担となる。

実施体制

・対応者は学生スタッフを含めて最低３人。できるかぎり 4～5 人を確保したい。
・月１回は外部講師を招聘して、運動教室、パステル画、打楽器ワークショップ

などのイベントを行いたい。その他の日は、前半を宿題タイム、後半をお楽しみタイム（遊びのイベント）とする。どちらも自由参加である。

・飯田教頭先生に学校側の窓口になっていただいた。毎月１回、学校と連絡会を行い、翌月の予定などを決める。

・運営のルールについては、市教育指導課の雛形があるので、これに準じて運営する。

・登校時に体調、体温などは確認済であるが、「にじ」来所後に体調不良が発生した場合の対応を学校と協議し、取り決めておく。

主なスケジュール

・３月中に学生スタッフの公募開始。放課後子ども教室の開催を親に知ってもらいたいため、自治会掲示板などでも周知したい。

・５月上旬頃に小学校で参加児童募集のチラシを配布する。

・５月中旬に参加児童を確定し、名簿作成、スポーツ安全保険への加入手続きをすませる。

・5 月下旬に出席カード作成や備品購入などを行う。

意見交換

・学生スタッフのみ有給なのか。

→ 生駒市の制度ではそのほかのスタッフも有給にできるが、人数が多く補助金で賄いきれないため無給とし、わざわざお手伝いに来てくれる学生スタッフのみ、有給とした。

・参加児童の定員（30 名）を超えた応募があった場合はどうするのか。

→ 現時点では抽選することを考えている。コロナ渦が続いている状況もあり、使用する図工室の広さからあまり多くの児童に参加してもらうべきではないと考えている。場合によっては学校と交渉することも検討していく。

○「高齢者分科会」活動報告

・生駒市の担当課（社会福祉協議会、地域包括ケア推進課）と面談し、支援の協力要請を行っている。

・高齢者の支援活動の名称がバラバラだったので、「鹿ノ台支え合い委員会」（略称：支え合い委員会）に統一した。

・支援する各項目に必要な業務内容、人数、資格などを洗い出して、一覧表にまとめた。今後はこの表をベースに、詳細を詰めていく。
・3 月 25 日（金）に老人会と、29 日（火）にふくまち鹿ノ台と意見交換会を実施する予定である。

○「交流分科会」活動報告

「森のコンサート」

・コロナ渦のなか、感染リスクが低い公園をもっと市民に活用してほしいという生駒市の思いと一致しており、市みどり公園課の協力を得て準備を進めている。
・会場にはキッチンカーのほかに、雑貨・小物などのフリマも出る。
・中央公園西側ステージ横の電源コンセントは昼間には使えないことがわかったが、EV を電源として音響機器を作動させてみたところ、支障なく使えるので、当日もこのやり方で電力を確保できる。
・４月２日（土）当日の 8 時に、開催有無の決定を行う。雨天延期（1 週間後）の場合は、下記により周知する。
  1. 連合会事務所の電話に雨天順延のメッセージを設定する。
  2. 連合会ホームページに雨天順延となったことを掲載する。
  3. 青パトによる巡回アナウンスをする。
・実行委員、サポーターの皆さんは、9:30 に中央公園にご参集いただきたい。
・一部のステージは 11 時から開始される。
・警備に地域安全推進委員会のご協力がいただけることになった。感謝したい。

意見交換

・キッチンカーやフリマが出ることもあって、子どもたちが楽しみにしている。可能であれば、子どもたちが喜びそうな曲を演奏してもらいたい。子ども会からも出店の希望が出ている。
  → 場所などを調整する。
・どのくらいの費用がかかるのか。
  → 出演者は無報酬で、その他の機器も持ち込むため、コンサート全体で 5,000 円の費用である。未来会議の予算枠から支出する。

○「連合会ホームページへの提言」小委員会

・連合会ホームページの位置づけを明確化するため、「鹿ノ台自治連合会ホームページ運用規程」中の「ホームページ開設の目的」について、見直し案を作成した。

・現在、黒田さんが WordPress（ホームページ編集ソフト）を使って、流山市のホームページを参考にしながら、現行のホームページに影響しないよう別のドメインでホームページのリニューアル案を作成中である。

・4 月下旬にホームページ委員会と合同会議を行う。ホームページ委員会と合同でしっかり時間をかけてリニューアル作業を行うことを提案したい。

・運用規程全般についても改定案を協議して作成し、連合会に諮って行く。

意見交換

・WordPress でホームページを更新する作業はたいへんなのではないか。

→ 勉強しながら取り組んでいる。これまでの貴重なデータがたくさんあるので、できるだけこれらを活用して、効率よく作業を進めていきたい。

○令和 4 年度　未来会議予算

・前回に今年度の決算見込みを提出したが、下期のコピー代に差異が生じたために、これに合わせて、来年度の予算のうち繰越金のみを修正したものである。

→ 承認。

・4 月には決算報告を行いたい。

○令和 4 年度　全体会・幹事会　予定

・全体会は原則として第 3 日曜日、幹事会はその前週の土曜日開催であるが、他の行事の影響で一部の日程で変更となっている。

○その他

連合会役員会の議事録

・連合会役員会の議事録に毎回、未来会議の取り組みが紹介されているが、分科会までのレベルに留まっている事項や、検討中の段階であるものはその旨明示していただきたい。

→ 未来会議で検討中の事項であっても、連合会では連合会としてそれに肉付けをして、どう取り組んでいくかを話し合っている。ただし記述の間違いがあれば、指摘をお願いします。

・未来会議は住民の皆さんから注目されているため、議事録の公表や広報紙「みらい」で情報を発信しているが、まだまだ取組みが伝わっていない。しっかりと説明して行きたいと思う。

・分科会には決定権限はなく、分科会から全体会議に提案し、承認を経て未来会議の決定事項となる。そして事業実施の可否は連合会に諮る。この手順を改めて共通認識とすべきである。

ソーラー発電について

・前回に中間報告したソーラー発電については、これからも詰めていくべきことがたくさんある。災害時など送電が停止した際の自治会活動継続には役立つメリットはあるが、費用が上がることはあっても、下がる見込みはないなどの課題もある。

→ 将来的には太陽光パネルが産業廃棄物となり、処理に高額の費用がかかるという話も出てきている。売電価格も下がりつつあり、ソーラー発電を進めていくべきか、国でも議論になっていることに留意すべきである。

→ すでにガラスを割らずに再生使用できる技術を開発している事業者がある。今から設置しても 20～25 年のパネル寿命を考えればその間に間違いなく再生技術は確立されていると思う。

各分科会等の打ち合わせ

・各分科会に分かれて、打ち合わせを実施

・「連合会ホームページへの提言」小委員会で、黒田さん作成中のホームページ案を確認

次回

日時

令和 4 年 4 月 24 日（日）13:30 – 16:00

※第 4 日曜日につき、注意

「東西」の構成員及び幹事は 13:15 集合

会場

西集会所

主な議題（予定）

1. 各分科会からの報告
2. 共通報告事項
3. 各分科会の打ち合わせ
4. その他

以上